

## 記者発表資料

令和6年3月22日  
国土交通省延岡河川国道事務所  
宮崎県延岡土木事務所**「令和5年度五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会」  
「令和5年度五ヶ瀬川水系流域治水協議会」を同日開催します**

近年、頻発する豪雨災害を受け、国において「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画のもと、平成28年度より『五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会』として、関係機関と連携・協力しながら、取り組んできています。

また、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とした『五ヶ瀬川水系流域治水協議会』を令和2年度に立ちあげ、流域全体で早急に実施すべき対策の全体像を示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速していくこととしています。

今回、五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会では、防災・減災についての取り組み状況の確認を、五ヶ瀬川水系流域治水協議会においては、「五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト」を「五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト2.0」へと更新し、更新内容や各機関の取組状況について共有を行います。

## ■日時

：令和6年3月27日(水) 9:30～ 令和5年度 五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会

：令和6年3月27日(水) 10:30予定（前の会議が終わり次第） 令和5年度五ヶ瀬川水系流域治水協議会

■会場等：延岡河川国道事務所3階会議室 ※来所とWEB参加の併用型会議にて実施します

■議事次第・関係機関：別添参照

## ■その他：

- ・ 報道機関のみ公開となり、取材対応としては延岡河川国道事務所にて対応します
- ・ テレビカメラ等による撮影は、意見交換の妨げにならないようにご配慮願います
- ・ 当日、降雨などにより防災体制等に入った場合は中止することがあります
- ・ 質疑等は閉会后にお願いいたします
- ・ 当日の会議の進行状況により、流域治水協議会の開会時間が前後する場合があります

## ■問い合わせ先

国土交通省 延岡河川国道事務所 電話：0982-31-1155（代表）

副所長（河川担当） 下村 慎一郎

流域治水課長 成松 政幸

宮崎県 延岡土木事務所 電話：0982-21-6143（代表）

次長（技術担当） 児玉 広文

河川砂防課長 小濱 宏二

いのちとくらしをまもる  
防 災 減 災教訓に学び地域で備える  
みんなでまもるプロジェクト五ヶ瀬川水系流域治水対策プロジェクト  
～地域をみずからまもる。水害に強い地域づくりのためのハード・ソフト対策の推進～

令和 5 年度 五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会

令和 5 年度 五ヶ瀬川水系流域治水協議会

日時：令和 6 年 3 月 27 日（水）9:30～

場所：延岡河川国道事務所 3 F 会議室及び web の併用

議 事 次 第

1. 開 会
2. 挨 拶  
延岡河川国道事務所長
3. 議 事  
規約改正について
4. 五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会
  - (1) 取組方針の確認
  - (2) 取組方針に基づく実施状況について
5. 五ヶ瀬川水系流域治水協議会
  - (1) 流域治水プロジェクト 2. 0 について
  - (2) 五ヶ瀬川流域における対策事例について
  - (3) 流域治水の自分事化に向けた取組について
6. その他  
流域タイムラインの紹介
7. 挨 拶  
延岡土木事務所長
8. 閉 会

## 別表-1

## 五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会 委員名簿

機 関 名	所 属 等	備 考
延岡市	市 長	
高千穂町	町 長	
日之影町	町 長	
五ヶ瀬町	町 長	
宮崎県 総務部	危機管理局長兼危機管理課長	
宮崎県 県土整備部	河川課長	
	砂防課長	
延岡土木事務所	所 長	
西臼杵支庁	支庁長	
熊本県 知事公室	危機管理防災課長	
熊本県 土木部	河川課長	
阿蘇地域振興局	土木部長	
上益城地域振興局	土木部長	
大分県 土木建築部	河川課長	
大分県 生活環境部	防災対策企画課長	
大分県 佐伯土木事務所	所長	
九州電力株式会社	宮崎支店長	
気象庁 宮崎地方气象台	台 長	
延岡河川国道事務所	所 長	
アドバイザー	宮崎大学 教授	村上 啓介
	宮崎大学 教授	入江 光輝
事務局	延岡土木事務所	
	延岡河川国道事務所	

## 五ヶ瀬川水系流域治水協議会 メンバー構成

機 関	所 属	役 職
延岡市		市長
高千穂町		町長
日之影町		町長
五ヶ瀬町		町長
宮崎県	総務部	危機管理局長兼危機管理課長
	県土整備部	河川課長
	県土整備部	都市計画課長
	県土整備部	砂防課長
熊本県	土木部河川港湾局	河川課長
大分県	土木建築部	河川課長
宮崎県延岡土木事務所		所長
宮崎県東臼杵農林振興局		局長
宮崎県西臼杵支庁		支庁長
熊本県上益城地域振興局	土木部	土木部長
熊本県阿蘇地域振興局	土木部	土木部長
大分県佐伯土木事務所		所長
林野庁 九州森林管理局 宮崎北部森林管理署		署長
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所		所長
九州財務局宮崎財務事務所		所長
気象庁 宮崎地方气象台		台長
延岡河川国道事務所		所長
アドバイザー	宮崎大学	村上教授
	宮崎大学	入江教授

令和5年8月22日  
水管理・国土保全局 河川計画課  
治水課**『流域治水プロジェクト2.0』を策定します**  
**～気候変動を踏まえた河川及び流域での対策の方向性を公表～**

気候変動の影響による降雨量の増大に対して、早期に防災・減災を実現するため、流域のあらゆる関係者による、様々な手法を活用した対策の一層の充実を図り、『流域治水プロジェクト2.0』として取りまとめます。

**<概要>**

流域治水プロジェクトは、上流、下流、本川、支川の流域全体を俯瞰し、河川整備等に加えて、雨水貯留浸透施設、土地利用規制、利水ダムの事前放流など、あらゆる関係者が協働し、各水系で重点的に実施する治水対策の全体像を取りまとめた取組です。

気候変動の影響により、2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍に増加すると見込まれることを踏まえ、流域治水の取組を更に加速化・深化させるため、全国109の一級水系で、気候変動を踏まえた河川及び流域での対策の方針を反映した流域治水プロジェクト2.0に更新してまいります。今般、全国8の一級水系（別紙1参照）において先行して公表し、他の一級水系についても、今年度を目途に順次更新してまいります。

**《流域治水プロジェクト2.0のポイント（別紙2・別紙3参照）》**

- 【ポイント①】気候変動による降雨量増加に伴う水害リスク（浸水世帯数等）の増大を明示する。
- 【ポイント②】これに対応するため、本川の整備に加えて、まちづくりや内水対策などの流域対策を充実し達成目標を設定する（目標の重層化）。
- 【ポイント③】この目標を達成するために必要な追加対策等を明示する。

今回公表した流域治水プロジェクト2.0については、以下のHPに掲載されている各水系の協議会HPをご覧ください。

[https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki\\_pro/index.html](https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki_pro/index.html)

**添付資料**

- 別紙1 【概要】流域治水プロジェクト2.0
- 別紙2 【事例】仁淀川水系流域治水プロジェクト2.0
- 別紙3 【事例】太田川水系流域治水プロジェクト2.0

【問い合わせ】国土交通省水管理・国土保全局 治水課  
課長補佐 萩原 健介（内線：35-542）  
企画調整係長 岡安 光太郎（内線：35-543）  
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8452